

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19103	介護予防事業	室名	長寿健康づくり室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	会計	01:一般会計
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援	款	03:民生費
	施策の方向	01:地域包括ケアの推進	項	01:社会福祉費
戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目	03:老人福祉費	
事業予定期間	H 18 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	介護保険法	

② 目的・概要	対象	一般高齢者
	目的	高齢化の進行から介護保険制度において、今後ますますサービスの増大が見込まれている。高齢者の健康寿命を伸ばし、地域で生きがいをもって生活していくために、高齢者自らが介護予防に取り組む必要性について認識し、要支援や要介護状態に移行しないよう、介護予防事業を実施する。
概要	一次予防施策	介護予防に向けた取組が、主体的に実施できるような地域社会の構築を目指して、健康教育・相談等を行う。
	二次予防施策	要介護状態となるおそれの高い虚弱な高齢者を対象に、主として運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上等の事業実施を行い、状態悪化防止を目指す。

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	介護予防一次予防施策	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防普及啓発事業 介護予防パンフレット等の作成 介護予防教室の開催 地域介護予防活動支援事業 看護師による高齢者の訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防一次予防施策 介護予防普及啓発事業 介護予防パンフレット等の作成 介護予防教室の開催 認知症予防対策 地域介護予防活動支援事業 看護師による高齢者の訪問 	
	介護予防二次予防施策	<ul style="list-style-type: none"> 二次予防対象者把握事業 高齢者訪問(在宅介護支援センターに委託) 通所型介護予防事業 運動機能向上教室や口腔機能向上・栄養改善教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防二次予防施策 通所型介護予防事業 運動機能向上教室や口腔機能向上・栄養改善教室の開催 	
	計画額	事業費	21,000千円	23,700千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他	21,000千円	23,690千円
	予算額	一般財源	0千円	10千円
		事業費	18,272千円	17,173千円
		国庫支出金		
県支出金				
地方債				
その他	18,240千円	17,173千円		
一般財源	32千円	0千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		44,700千円	期間外事業費(H29以降)② -	
		総事業費 (①+②) -		

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	出張介護予防教室開催数		
	補足	出張介護予防教室の開催数(年間)	計画値 50	55
②	名称	出張介護予防教室参加者数		
	補足	出張介護予防教室への参加者数(延べ人数)	計画値 750	830
③	名称			
	補足		計画値	
④	名称			
	補足		計画値	

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	19103	介護予防事業	室名	長寿健康づくり室
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財 会計	01:一般会計
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援	務 款	03:民生費
施策体系	施策の方向	01:地域包括ケアの推進	科 項	01:社会福祉費
	戦略プロジェクト	03:みんな健康プロジェクト	目 目	03:老人福祉費

② 目的・概要	対象	一般高齢者
	目的	高齢化の進行から介護保険制度において、今後ますますサービスの増大が見込まれている。高齢者の健康寿命を伸ばし、地域で生きがいをもって生活していくために、高齢者自らが介護予防に取り組む必要性について認識し、要支援や要介護状態に移行しないよう、介護予防事業を実施する。
	概要	一次予防施策・・・介護予防に向けた取組が、主体的に実施できるような地域社会の構築を目指して、健康教育・相談等を行う。 二次予防施策・・・要介護状態となるおそれの高い虚弱な高齢者を対象に、主として運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上等の事業実施を行い、状態悪化防止を目指す。

		27年度	28年度
①	名称	出張介護予防教室開催数	計画値 50
	補足	出張介護予防教室の開催数(年間)	実績値 62
			単位 回
②	名称	出張介護予防教室参加者数	計画値 750
	補足	出張介護予防教室への参加者数(延べ人数)	実績値 1331
			単位 人
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
介護予防一次予防施策 ・介護予防普及啓発事業 介護予防パンフレット等の作成 介護予防教室の開催 認知症予防対策 ・地域介護予防活動支援事業 看護師による高齢者の訪問 介護予防二次予防施策 ・通所型介護予防事業 運動機能向上教室や口腔機能向上・栄養改善教室の開催				介護予防一次予防施策 ・介護予防普及啓発事業 亀山QOLクラブ会員対象の認知症予防教室 毎月実施 介護予防のてびき全戸配布 介護予防教室 延べ人数 出張介護予防教室(委託) 55回 1,324人 一次介護予防教室(委託分) 174回 3,731人 認知症予防施策 認知症インターネットチェック利用者数 4,963人 ・地域介護予防活動支援事業 しゃきしゃき体操教室(OB会支援) 5回 57人 介護予防二次予防施策 実績なし				
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	5,492	平均給与額×③	
		事業費	23,700	17,173	13,680	一般職員人件費 ②		5,492
		国庫支出金	0	0	0	所要人員 ③		0.75
		県支出金	0	0	0	臨時職員人件費 ④		0
		地方債	0	0	0	受益者負担額 ⑤	0	
		その他	21,000	17,173	13,680	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源	2,700	0	0			
再掲	翌年度への繰越額	0	0					
	前年度からの繰越額	0	0					
	総人件費		①	5,492				
	総コスト		⑥	19,172				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	一次予防施策については、介護予防のてびきの配付等で介護予防教室について周知を行い、生活の中で介護予防や健康づくりにつなげる啓発を行うことができた。しゃきしゃき体操教室終了後、自主グループとして活動している団体は現在8地区あり、各地区で継続して活動することができている。平成29年度開始の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に向け、鈴鹿亀山地区広域連合、鈴鹿市、亀山市で今後の、実施内容等について検討を行った。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	二次予防施策については、国の実施要項に基づき、参加基準は指定の「基本チェックリスト」該当者を対象としているため、誰でも気軽に参加できる教室ではない。事業対象者として該当する人がいなかったため、実績なし。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	一次予防事業、二次予防事業は、平成29年度開始の介護予防・日常生活支援総合事業において、介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業として整理されたため、柔軟に利用者を受け入れることができるよう進めていく。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切